

STYLING

MONO



パナマはトキヤ草というヤシ科の植物。
世界の97~98%を生産するのは
エクアドルとその近隣諸国であり、
最高級のパナマ帽は例外なく原産国表示に
「エクアドル産」の文字がある。
南米以外では台湾、フィリピン、中国産などの
オリエンタル・パナマがある。

19世紀最大の運河がスエズ運河ならば、
20世紀最大の運河はパナマ運河である。
この人類史に残る重要な運河建造を
政治的に推し進めたのはアメリカであったが、
現地での実労働は、現地のパナマ人だった。
いわゆる「パナマ帽」と呼ばれる帽子は
この現地の労働者たちが被っていた帽子を
米軍人たちが本国へ持ち帰ってから
歴史が始まったとされている説がある。
また、パナマ運河建造よりも前の
1889年には、イギリスの
ハーバード・ジョンソン社がすでにパナマを
輸入して生産していたという説もあり、
この帽子の由来は定かなものがない。
ただ、いずれにしても現代に繋がる
パナマ帽のスタイルは第26代米大統領
セオドア・ルーズベルトがパナマ運河建造の
視察に行った1904年以降のこと。
現地におけるパナマ帽姿の大統領の写真が
新聞紙上を賑わせてから一気に流行した。
イタリアの名品『ボルサリーノ』も同時期に
パナマ帽の製造を開始し、20世紀初頭の
ファッション誌ですでにカタログ化された
同社のパナマ帽が掲載されていたという。
ボルサリーノといえはフェルトの帽子を
思い浮かべる人が多いが、
パナマ帽にもまた、このブランドは
並々ならぬこだわりと歴史があるのである。



VOL.11
Borsalino

SINCE 1857~

●特集【ボルサリーノ】

Photo/Tomoaki Tsuruda(WPP)、Borsalino Japan
Text/Teruhiko Doi(WPP)

STYLING

MONO

映画「Borsalino」は、ジャック・ドレー監督のフランス映画。1970年の公開当時、主役の二人、アラン・ドロンもジャン・ポール・ベルモンドも大スターであったため、話題の映画となった。ボルサリーノ本社のあるアレクサンドリアがフランスに近かったために、その影響を受けて制作されたというのは、有名な話である。



ボルサリーノは単なる帽子ブランドではなく、イタリアの文化と認識せよ。

『ボルサリーノ』の創業者である
 ジュゼッペ・ボルサリーノが1857年に
 イタリア北部の地方都市であるアレクサンドリアで
 工場を設立した当時、帽子製造はまだまだ
 職人たちの手による家内制手工業の製品だった。
 転機は1871年、イギリスの産業革命の影響で
 帽子製造に一部機械化を取り入れてからで、
 品質の安定と生産量の向上を実現させたのである。
 1900年にはバリ・グランプリを獲得し、
 年間の生産量も75万個を達成した。
 アレクサンドリアにあった他の帽子工場や工房は
 次々と同社に吸収され始め、1913年には
 200万個の帽子を製造していた。
 ボルサリーノというブランドを語るのに
 いつも1970年の映画「ボルサリーノ」の話から
 始まることが多いが、確かに映画のおかげで
 このブランドが世界的に認知されたのは事実である。
 しかし、当時すでに同社の帽子生産量は世界有数であり
 イタリアを代表する名門ブランドだったのである。
 いつの間にかアレクサンドリアの町において、
 ボルサリーノが産業の中心になっていた。
 すべての工場や工房の職人たちが皆、
 同社で働くことを願ったからである。
 アレクサンドリアの町はボルサリーノと共に発展し、
 多くの公共施設が同社によって建てられた。
 確かにボルサリーノはひとつのスタイルを確立した
 ブランドではあるが、その存在は、
 単なる帽子メーカーを超えた文化と認識すべきである。
 1992年には創業者一族から
 ガッロ・モンティコーネ一族に経営が引き継がれたが、
 その粋な存在感は21世紀のいまも変わらない。



パナマ帽に品格を与えるリボンもさすがに
 ボルサリーノのものはお洒落なデザイン。
 刺繍されたロゴとリボンの結び方に
 時代を超えた“粋”を感じてしまう。
 最高級のパナマを使ったその素材感など
 他ブランドとは別次元の完成度である。



涼しげなボーダーのリボンと
 ネイビーのリボンを
 上品に重ね使ったスタイリング。
 今期から採用されたパナマの新品質
 ファインとエクストラファインの
 中間くらいに位置する
 「パナマ・バイヤ」を素材に使用。
 価格7万2500円

MONO

今年のトレンドは小ツバのハイバック。若者を中心に人気が出そうなカジュアルなデザインだが、実はボルサリーノ好きは広幅のツバを選ぶ傾向にあるようだ。ボルサリーノスタイルというのはツバ幅が6〜7センチのものを指す。



ブリムダウンでスタイルを付ける



ベースボールキャップのツバを丸めて形を作るように、パナマ帽にも、そのスタイルを付けるための方法論がある。それは「ブリムダウン」と呼ばれるものでハンフリー・ボガードがそのスタイルをよく実践していた。上の写真のように、前を落として(ブリムダウン)&後ろを上げる(ハイバック)形にする。ツバを持って、自分の手で曲げるようにする。ただしパナマは繊細な素材なので力を入れすぎるとは禁物。帽子を着脱するときに軽く形作るようにクセをつけておけば、それもスタイルになる。両サイドを上げるウエスタンスタイルとは異なるので間違えないように。また、上の一番下の写真のように、パナマを持つときに前部のくぼみに指をかけて持つ人がいるが、これはパナマではご法度。この部分は工場ですっきりと成形されており鏡面に握るとパナマが割れてしまう。普通の帽子のようにツバを持って着脱するのがパナマの正しい付き合い方。他人の帽子を被らせてもらったときなどこの点に配慮できるように。ちょっとしたパナマ通といえるだろう。夏場汗をかいたら、内縁をこまめにふき取ることも忘れないように。持ちが違ってくる。

パ ナ マ 帽 と は ?



いろいろ揃う パナマの素材

パナマ帽は入り組んだ繊細な植物の糸の綾と自然な風合いが特徴。出来のいい製品は糸の均等性に優れたものとなる。パナマ帽の素材として、いわゆる本物、とされるのは、南米エクアドル産の厳選されたトキヤ草を細かく裂いたもので、草の細さや部位によって仕分けされ、クラス分けされたものを指す。ボルサリーノ社のパナマのランキングをスタンダードなものから順に示してみよう。

- パナマ・キート
- パナマ・ファイブ
- パナマ・バイヤ (今期から)
- パナマ・エクストラファイブ
- モンテクリステイ
- モンテクリステイ・ファイブ
- モンテクリステイ・エクストラファイブ
- モンテクリステイ・スペリオール
- モンテクリステイ・コレツツイオ

製品の価格帯でいうと、2万円



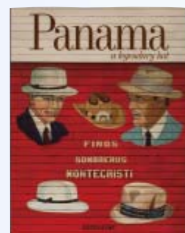
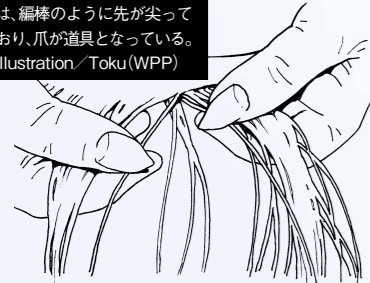
円台後半〜4万円台のキートに始まり、モンテクリステイで10万円台前後になる。「リアルパナマ」と呼ばれるモンテクリステイ以降の上質の製品は大体15万円〜19万円台。モンテクリステイ・エクストラファイブになる。22万円〜25万円前後。モンテクリステイ・コレツツイオで56万円の製品がある。最上級はモンテクリステイ・コレツツイオを使った150周年特別限定品で、こちらは価格100万円。こうしてクラス分けされたパナマは、現地エクアドルの職人による高度な技術で編み上げられ「帽体」と呼ばれる帽子の原型が作られる。右の写真がその「帽体」で、この形で輸出されるわけだ。そしてボルサリーノ社の熟練した職人が「ツバ処理」を行い、打ち付けて均す作業や、同社の伝統的加工方法である「Brisa」など、いくつもの工程を経て製品化される。各品の価格にはきちんとした理由が存在するのである。

このように徹底した職人作業で仕上げられたパナマ帽は、軽快かつソフトで通気性がよく夏に欠かせない存在となる。ちなみに、エクアドル産ではないオリエンタル・パナマを使用した製品は、価格2万円台後半〜3万円台後半。また、パナマ帽に似た形状で素材が異なる(シゾール、光沢の美しいペンタール、バクーなど)、求めやすい価格帯の夏の帽子もボルサリーノには揃っている。いずれも通気性に優れた麻植物性を採用し、パナマで出せないカラーが楽しめる。

ワインの畑のような パナマのブランド畑

最良質のワインが畑の斜面

パナマを編み上げる職人の爪は、編棒のように先が尖っており、爪が道具となっている。
Illustration/Toku(WPP)



貴重なパナマ製造の様子が収められた一冊。
【Panama-a legendary hat】
米 ASSOULINE社刊・洋書



STYLING

MONO

ボルサリーノ取り扱い店舗情報
 ①大丸東京店 8階 サロン・ド・グウオム ボルサリーノ ☎03-6895-2368
 ②大丸心齋橋店 5階 メンズプラザボルテ ボルサリーノ ☎06-6244-0033
 ③大丸福岡天神店本館 4階 サロン・ド・グウ オム ボルサリーノ ☎092-712-8181
 ④高島屋東京店 2階 特選紳士衣料雑貨 ボルサリーノ ☎03-3246-8407



創業者のジュゼッペ・ボルサリーノ。右の写真は現在もアレッシェンダリアにあるボルサリーノの本社。古くからの建物がそのまま残る。@ボルサリーノ ジャパン ☎03-3230-1030
www.borsalino.jp

Borsalino

Borsalino大丸東京店



パナマ・キート。
キートというのはベーシック
という意味。
最も求めやすい価格帯。
価格 2万9400円



ベーシックな白のパナマに
ブラックのリボン。
パナマ・ファイン
価格 4万9350円



オリーブ色のリボンが
白いパナマに映える。
パナマ・エキストラファイン
価格 7万5600円



エレガントな7cmのツバ幅と
最上級の素材はまさに
パナマ帽の最高級品。
パナマ モンテクリスティ
エキストラファイン 価格21万円



これもパナマ素材。
今夏のボルサリーノには
こんな都会的なデザインも
用意されている。
価格 4万8300円



本来、黒の染色は難しいと
されるが、こんなパナマも
用意されている。
パナマ 価格 3万6750円



若いボルサリーノファンに
人気の、ブラックに
ツヤのある塗装をかけた
スタイリッシュなパビエ。
価格 4万4100円



素材はファブリック。
今夏のボルサリーノに
加えられたコレクション。
同素材のリボンが可愛い。
価格 2万2650円



軽快で若々しい
短めのツバが魅力。
素材はパビエ。
価格 2万7300円